

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成26年12月10日 NO.65 (165)

クチナシの実



クチナシの花



オー君 「あ！このクチナシの実は、^み通学路で見たよ。^{つうがくろ}花は白いのか。いつ咲くのかな。」

花ちゃん 「クチナシは、6月ころから梅雨のころに咲くんですね。モンタ博士。」

モンタ博士 「そうだよ。梅雨のころに、まっ白な花を咲かすんだ。かおりがとてもよくてね、^{あめ}雨がふったりして、^{しつど}湿度が高くと、さらによいかおりがあちこちに満ちて、それはそれは、いいお花だね。夜には、スズメガの仲間がたくさん集まって、^{かふん}花粉を運んでくれるんだよ。」

オー君 「ふーん。そうなんだ。ところで、^{うえ}上のオレンジ色のものは実なんだね。」

花ちゃん 「とてもきれいな実でしょ。わたしのお気に入りの実よ。」

オー君 「色水遊びができそうだね。」

花ちゃん 「そうよ。すりつぶして水にとけば、^え絵の具のようになるのよ。むずかしい

ことば
言葉で、カロチンとかいうものがあるらしいのよ。」

モンタ博士「クチナシのこの赤黄色いものは、いろいろなものに使われているんだけど、
知っているかな。おせち料理がヒントだよ。」



クチナシ(アカネ科)

Gardenia jasminoides

オー君 「おせち料理・・・。食べたくなっちゃったなー・・・。早くお正月が来ない
なか。ぼく、はらへってきたな。」

花ちゃん 「オー君！まじめに考えてください。」

モンタ博士「栗きんとんを知っているだろう。あの黄色の色づけにはクチナシを使うんだ
よ。また、和菓子やさつまいもなどにも使うんだよ。」

オー君 「ふーん。そうなんだ。またまた、おなかがへってきちゃうなー。ところで、
どうしてクチナシという名前になったのですか。」

モンタ博士「それは、いろいろあってね。10月か11月ころに赤黄色になるんだけど、
この果実は、熟してもわれないんだ。それで、口なしになったとかいわれて
いるんだよ。」

オー君 「へえー。それで、クチナシですか。よくわかりました。」

クチナシのつぶやき

私は、薫り高いクチナシです。あちこちのおうちのお庭に植えられていますが、もともとは、もう少し南のほうのあたたかい地域に自生している木で、静岡県よりも西に見られるそうよ。八重咲きのクチナシもあるそうですが、それには実がつかないのよ。それから、学名では、*Gardenia jasminoides* のガーデニアとは庭、ジャスミノイデスとはジャスミンの香りとの意味です。果実にはカロチノイドの一種、クロシン (Crocin) が含まれていて、乾燥させた果実は古くから黄色の着色料として用いられたのよ。また、発酵させることによって青色の着色料にもなるそうよ。